

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
芸術	音楽 I	音楽 I	2	第1学年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
MOUSA①(教育芸術社)	楽譜、クラシックギター、 アルトリコーダー、教師作成のプリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	授業ガイダンス 楽典 ①楽譜の読み方 ②ソルフェージュ ③リズム	4	中学での既習事項を復習しながら楽譜の読み方と歌唱技術、リコーダー奏法を結びつけて表現できるよう指導する。歌唱は、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。リコーダーの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する。クラスの雰囲気「のびのびと表現しやすい、楽しい空間」であると同時に規律あり、思いやりをもってふるまえる、集団としてのあり方を説明する。学んだこと、考えたこと、感じたことを「自分の表現」に出来るよう自らに引きよせて解釈するよう言語活動を行う。
	5	歌唱 ①校歌習得 ②J-POPを歌う ③コーラス 楽典	8	
	6	器楽(リコーダー) ①奏法習得 ②楽曲演奏 楽典	6	
	7	歌唱 発表 器楽 発表 楽典	6	
二学期	9	器楽(ギター) ①奏法習得 ②TAB譜、コードネーム学習 ③歌の伴奏	8	視覚資料や教科書を十分に活用し、自力でギターを練習できるよう指導する。実技と鑑賞をバランスよく配する。ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾けるようにする。世界の音楽文化を理解し、印象を文章化できるよう言語活動を行う。日本の音階について学習し、わらべうたの創作を指導する。
	10	民族音楽 ①世界の音楽と楽器 ②サンバ ③アメリカンドラム 楽典	8	
	11	日本伝統音楽 ①わらべうた創作 ②和楽器と日本音楽 ③文楽、能など鑑賞	8	
	12	器楽(ギター) ①TAB譜、コードネーム学習 ②J-popの弾き語り演奏	6	
三学期	1	西洋クラシック音楽 ①西洋音楽史 ②舞台芸術鑑賞 ③クラシック作品をリコーダーで演奏	6	学習してきた楽譜の読み方、演奏技術のまとめを行う。実行した内容を自己評価させる。目的に沿って計画、行動できるよう指導する。各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう。西洋音楽は、様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに、文化的・歴史的背景や作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、意見交換などを通してより深く学ぶ。
	2	アンサンブルの練習計画立案 実行と自己評価	6	
	3	歌唱、器楽のアンサンブル実践	4	

評価の観点・方法

70

- ①関心・意欲・態度…前向きな気持ちで課題に取り組む。思いやりある振る舞いができる。ルールを守るなど観察する。
 ②思考・判断・表現…プリント記入の言語表現を重視。印象を言葉にする。きちんと感想を書くなどを見る。
 ③知識・技能…学習したことを練習に活かし表現できるか。実技テスト、作曲、課題提出等で点数化する。

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
芸術	美術 I	美術 I	2	第1学年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
高校生の美術 I	

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・デザイン ポスター制作(瑞高祭) ①アイディアスケッチ ②大きな画用紙に拡大転写 ③文字レタリング ④配色 ⑤着色仕上げ	6	・伝達という用途を考えられたデザインか？ ・図柄と文字のレイアウトがバランス良くなされているか？ ・着色の美しさ
	5		8	
	6		10	
	7		2	
二学期	9	・ボタニカルアート 校内の植物をスケッチ、淡彩 ・木彫りレリーフ 植物と手を構成し、板に彫る ①デッサン ②板に転写 ③彫る ④研磨 ⑤着色仕上げ	10	・モチーフとなる植物、手の観察がなされているか？ ・バランスを考えた構成 ・彫りの美しさ ・立体的な表現 彫りによる形出しができていないか
	10		10	
	11		8	
	12		2	
三学期	1	・絵画 点描画(水性ボールペンで描く) ①アイディアスケッチ ②下描 ③点描 ④仕上げ	6	テーマに合う、オリジナルのデザイン(アイディア) モノトーンの美しさを感じさせる点の密度とバランス
	2		6	
	3		2	

評価の観点・方法

70

制作意欲、作品の完成度、密度を主に評価

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
芸術	自由選択 音楽 I	自由選択 音楽 I	2	第3学年	自由選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
MOUSA①(教育芸術社)	楽譜、クラシックギター、 キーボード、教師作成のプリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	授業ガイダンス 楽典 ①楽譜の読み方 ②ソルフェージュ ③リズム	6	学んだこと、考えたこと、感じたことを「自分の表現」に出来るよう自らにひきよせて解釈するよう言語活動を行う。楽典を復習し、歌唱、キーボードを通じて、その理解が深まるようプリント課題と実技をリンクさせる。よく耳を使い、お互いの声を注意深く聴くことができるよう、雰囲気を作る活動を入れる。クラスの雰囲気が「のびのびと表現しやすい、楽しい空間」であると同時に規律あり、思いやりをもってふるまえる、集団としてのあり方を説明する。
	5	歌唱 ①J-POPを歌う ②コーラス 楽典	8	
	6	キーボード ①奏法習得 ②楽曲演奏 楽典	8	
	7	歌唱 発表 キーボード 発表 楽典	6	
二学期	9	器楽(ギター) ①奏法習得 ②TAB譜、コードネーム学習 ③歌の伴奏	8	視覚資料や教科書を十分に活用し、自力でギターを練習できるよう指導する。ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾けるようにする。アンサンブルでは、学習してきた楽譜の読み方、演奏技術のまとめを行う。実行した内容を自己評価させる。目的に沿って計画、行動できるよう指導する。各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう。楽器の構造と奏法を理解し、民族音楽でも広く用いられる楽器であることをリンクさせて意識するよう指導する。国の歴史や楽器の成り立ち等、音楽文化がいろいろな要素からできていることを視覚資料やDVDなど豊富に見ることで理解できるようにする。適切な表現で批評活動が行えるよう立論をよく説明する。
	10	器楽(ギター) ①TAB譜、コードネーム学習 ②J-popの弾き語り演奏 楽典	10	
	11	アンサンブルの練習計画立案 実行と自己評価 楽典	10	
	12	歌唱、器楽のアンサンブル実践 民族音楽 ①ギター属の楽器、数字譜 ②オーケストラ楽器の源流	8	
三学期	1	西洋クラシック音楽 ①西洋音楽史 ②舞台芸術鑑賞	6	オーケストラの様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに、文化的・歴史的背景や作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、意見交換などを通してより深く学ぶ。
	2			
	3			

評価の観点・方法

70

- ①関心・意欲・態度…前向きな気持ちで課題に取り組む。思いやりある振る舞いができる。ルールを守るなど観察する。
②思考・判断・表現…プリント記入の言語表現を重視。印象を言葉にする。きちんと感想を書くなどを見る。
③知識・技能…学習したことを練習に活かし表現できるか。実技テスト、作曲、課題提出等で点数化する。

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
芸術	美術 I	美術 I	2	第3学年	自由選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
高校生の美術 I	

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・デザイン ポスター制作(選挙ポスター) ①アイディアスケッチ ②大きな画用紙に拡大転写(拡大) ③文字レタリング ④配色 ⑤着色仕上げ	7	・伝達という用途を考えたデザインか？ ・図柄と文字のレイアウトがバランス良くなされているか？ ・美しい着色
	5		9	
	6		11	
	7		4	
二学期	9	・切り絵 平面切り絵、立体切り絵(正12面体) ①アイディアスケッチ ②原画を描く ③肉付け(残す線を太く描画) ④切り抜き ⑤台紙の選択と着色	11	・アウトラインの強さと美しさ考えた図柄 ・細部の美しい切り抜き ・残す黒のラインと内部と周囲の色のバランス
	10		10	
	11		8	
	12		3	
三学期	1	・工芸 木片を使って小物入れを作る アクリル絵の具で彩色	7	・オリジナルの形
	2		0	
	3		0	

評価の観点・方法

70

制作意欲、作品の完成度、密度を主に評価

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
芸術	書道 I	書道 I	2	第3学年	自由選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
書道 I (東京書籍)	新訂 ペン習字教本(大日本印刷)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・書写と書道の違い (臨書) 九成宮醴泉銘	8	・書写と書道の違いを理解する。 ・九成宮醴泉銘の特徴を理解する。
	5	(臨書) ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	10	・臨書を通して古典の特徴を捉える。 また、それぞれの古典の美を学習する。 ・九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑の比較を行うことにより、それぞれの古典の持つ美しさを体感させる。また、生徒同士で発言させることにより、自分と異なる見方、考え方に触れさせる。
	6	(臨書) ・書写と書道の違い ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	10	
	7	・雁頭聖教序 ・自書告身帖	2	
二学期	9	(臨書) ・蘭亭序 ・風信帖	10	・臨書を通して古典の特徴を捉え、その美を理解する。 ・中国の書と日本の書を比較させ、それぞれの美しさを理解する。
	10	(臨書) ・曹全碑 ・泰山刻石	10	・臨書を通して古典の特徴を捉え、その美を理解する。 ・蔵鋒や波磔などの用筆を学習する。
	11	(臨書) ・高野切第三種 ・篆刻	10	・日本独自の文化であることを理解させ、その美を学習する。 ・仮名の成立について学習し、日本の文化や歴史を理解する。
	12	漢字仮名交じりの書(創作と鑑賞)	2	・各々が書きたいと思う題材について、各々の個性を生かしながら表現する。
三学期	1	漢字仮名交じりの書(創作と鑑賞)	8	・各々が書きたいと思う題材について、各々の個性を生かしながら表現する。
	2		0	
	3		0	

評価の観点・方法

70

・毎回の授業課題への取り組み次第により、評価を行う。

①課題の完成度を高めようとする姿勢があるか(関心・意欲・態度)

②課題において指定したポイントを意識しながら書くことができたか(技能、知識、理解)